



読者の皆さまの声を紹介します。
 ありがとうございます。

●山田真哉さんのインタビューが良かったです。私もレシートを1年間保管しておいてどの辺が無駄になっているのか、じっくり検討してみようと思います。
 (神奈川県・とまとの母さん)

●金融教育の授業は必要だと思っていたので、近くで公開授業があれば参加してみたいです。
 (北海道・マル子さん)

●今回、市役所で偶然にしかも初めて広報誌を読む事ができて大変参考になりました。
 (栃木県・遠藤右さん)

●たいへん内容のある本です。単利と複利の違いがよくわかって、知らないことが理解できて、嬉しいです。
 (山口県・藤田久子さん)

●前の号の金融教育の現場レポートもとても興味深く読ませていただきました。「私はダメサレナイ!!」も参考にいたします。
 (長野県・雪だるまさん)

●初めて貴誌を見て、いろいろなことが書いてありタメになる↓知人にも教えてあげたいなと思いました。これからも詳しくかみくだいた内容でお願いします。
 (東京都・ぱんださん)

●自営業を営んでいるわが家にとって今の景気はなかなか厳しいものがあります。だからこそあらためて「というか初めて」経済に関心を持ち、日々の新聞も読み、この冊子で知識を得て、所得や消費についても目線を変えて考えるようになりました。
 (愛媛県・ハヤシハナさん)

●知っている様で知らなかった住宅購入資金ローンについて、いろいろ知ることが出来ました。人生で一番高額な買い物なのに知ると知らないでは大違いですね。
 (新潟県・山田龍平さん)

●初めて目にして、子どもの金銭教育の大切さをチョット感じました。
 (千葉県・秋田吉衛さん)

知るぽるとクイズ

以下のヒントをもとに故事ことわざなどを考えてみてください。一番最初の文字をつなげると、本誌に登場した印象的な言葉が浮かび上がってきますよ。さて何でしょうか？

ヒント

- A. はじめはよいが、終わりはまいち
- B. はじめたからには後には引けぬ
- C. 一つのことを見てすべてを知る
- D. 苦しいことばかりは続きません
- E. 気の合う人は自然に集まる

A.					ダ	ビ
B.				ナ	ゲ	ラ
C.					バン	ジ
D.					ラ	ク
E.				ト	モ	ヲ

※答えは次号掲載

●前号の答え

サオダケヤ

前号の「巻頭インタビュー」では、山田真哉さんのやわらかなもの考え方や発想、視点を変えることの大切さがよくわかりました。

おたより募集中

「くらし塾 きんゆう塾」では、皆さまからのおたよりを募集します。クイズにお答えいただいた上で、下記宛先までお送りください。平成22年2月28日までにご意見をくださった方の中から、抽選で10名の方に、「日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。また、おたよりを本誌に掲載させていただいた方には、「知るぽると特製ボールペン*&メモ帳」をプレゼントいたします。
 ※使い終わった紙幣の裁断片が入っています。

●記入していただきたいこと

- ①本号で面白かった記事
- ②本号で「もう一工夫ほしい」と思った記事
- ③今後、取り上げてほしいと思うテーマ
- ④一言ご感想
- ⑤この広報誌を知ったきっかけまたは場所
- ⑥知るぽるとクイズの答(左記参照)
- ⑦ご住所・お名前・電話番号
- ⑧「読者のおたよりコーナー」への掲載希望の有無/掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合はペンネーム

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ、使用させていただきます。

●宛先

郵送 : 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1
 日本銀行情報サービス局内
 金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛
 メール : info@saveinfo.or.jp
 FAX : 03-3510-1373
 金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛